理科学習指導案

実　施　日　平成２３年6月２９日
実施クラス　２年４組
授　業　者　志　岐　隆　介

１　指導単元　　第３章　動物のなかま

２　単元設定の理由

家庭で生き物を飼育したことや、小学校の飼育小屋の生き物と触れ合った経験をもつ生徒は少なくない。このような身近な生物だけでなく、様々な動物を特徴によって仲間分けできることに興味・関心を持ち、動物の特徴についてより深く考えていこうとするきっかけをつくるために本単元を位置付けた。

３　単元の指導目標　新学習指導要領　２分野（３）動物の生活と生物の変遷　ウ動物の仲間　（ア）

生物や生物現象についての観察、実験を行い、観察・実験技能を習得させ、観察、実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てるとともに、生物の生活と種類、生命の連続性などについて理解させ、これらの事象・現象に対する科学的な見方や考え方を養う。

４　単元の指導計画（４時間扱い）

	主な学習内容	評価規準
第１時	班討論で動物を特徴により分類する	班で積極的に話合いができたか。（関心・意欲）
第２時	セキツイ動物の特徴	セキツイ動物の特徴を考えられたか。（思考）
第３時	セキツイ動物の分類	セキツイ動物を分類できたか。（知識・理解）
第４時	無セキツイ動物の特徴と分類	無セキツイ動物の特徴を理解・分類できたか。（思考）

５　授業改善のポイント（言語活動の充実の観点から）

・自分の考えや意見を表現することができる授業を展開する。
・班活動を通じて、お互いに学び合えるよう工夫を行う。

６　本時の授業

（１）本時のねらい
動物が様々な特徴を基に、幾つかの仲間に分類できることに気付かせる。

（２）本時の展開

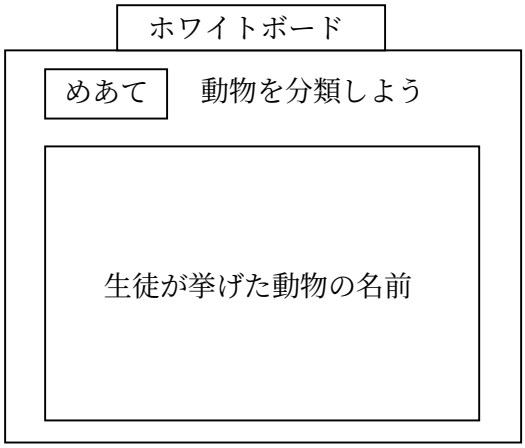
	学習内容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点（評価）
導入 10分	・前時までの授業内容を思い出す。 ・知っている動物を挙げる。 ・例示された動物の特徴の違いを考える。	・前時までの学習内容を確認する。 ・これから学習する内容の説明を行う。 【発問】知っている動物を答えて下さい。 ・回答を板書する。 ・生徒が挙げた動物を２つに分類する。 ☆これらをふたつに分けたのは、どのような特徴に注目してだと思いますか。	・「イヌ」「ネコ」「シマウマ」「ライオン」「メダカ」「トラ」「ウシ」 ・「大きい・小さい」「水中生活・陸上生活」	・地球上には様々な生き物がいることを確認させる。 ・生徒の考えた内容をできるだけ多く引き出す。

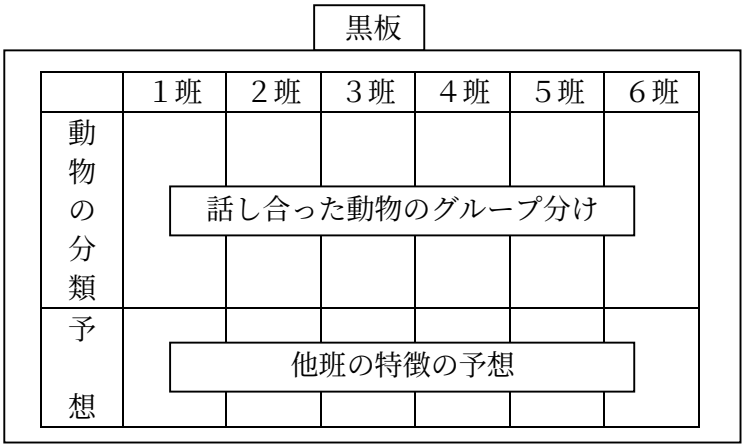
	学習内容	教師の働きかけ	予想される生徒の反応	指導上の留意点（評価）
展開①15分	・班ごとに話合いを行う。 ・話合いの結果を黒板に貼る。	・この後の学習の進め方を説明する。 ・画用紙を貼る欄を黒板に書く。	・板書されている動物を特徴に基づき２つのグループに分ける。（視点３） ・動物をグループ分けをした画用紙を黒板に貼る。	・話合いをする上で、司会・書記・発表の係分担をさせる。
展開②20分	・グループ分けの特徴を考える。 ・グループ分けの特徴を確認し合う。	【発問】他班がグループ分けした特徴を考えてみましょう。 【発問】自分の班で考えた特徴を発表して下さい。	・他班が考えた特徴を予想する。 ・予想した内容の発表を行う。 ・自分の班の特徴を発表する。 ・他班の発表を聴く。	・積極的に話合いに参加し、自分の考えを表現しているか。 （関心・意欲・態度）
まとめ5分	・地球上の生物には様々な特徴があることを考える。	【発問】動物を分類する上でどのような特徴がありましたか。	・「生活環境が違う」「卵を産む・子を産む」	・セキツイ動物の分類に、この話合いを生かす。

（３）本時の評価

動物が様々な特徴を基に、幾つかの仲間に分類できることに気付けたか。【科学的な思考】

7　本時の板書計画





8　授業を終えて

・どの生徒も積極的に話合いに取り組み、活発な意見交換ができていた。
・生徒が作業を行いやすい、的確な指示を出すことが課題である。
・思考の流れが分かりやすい、ワークシートを作成することが課題である。
・「作業をするとき・先生の説明を聴くとき・他班の発表を聴くとき」といった、メリハリのある授業展開を行うことが課題である。
・話し合った内容をどのようにして知識として定着させるかという、今後の授業展開の工夫が課題である。